紀月ヘラルドナタニエル、ペツファ

何故の挑戦か

「米人には発かれ難い宿命でもあるのかしら。米大陸にでもあるのかしら。米大陸につて發足し、其臨に到端するや忽ち太平洋岸に向い、此島に出て、弦に支那にかまなった。アクフといふ見し、1000円戸削板の呼吸さなった。アクフといふ見

日本の外交政策上の限目は 米婦だ。日本の外交政策上の限 ではなくもで表謝政府の順 様なる整明であった。実破敏配」 をなる整明であった。実破敏配」 をなる整明であった。実破敏配」 をなる整明であった。実破敏配」 をなる整明であった。実破敏配」 をなる整明であった。実験があった。 をなるを挑發をしたに付て、日本

だい今日の日米は正に一九〇七年宮崎の獨英である。情勢を現在のままに放置すれば日を現在のままに放置すれば日を現在のままに放置すれば日のの場所である。情勢

委員會さがに順著せず、吾人 さか、條約さか、會議さか。 平和戦闘

新京區公示第八號 新京區公示第八號 昭和八年七月一日 昭和八年七月一日

三友社

即日新聞紙上二發表

上常籤ヲ决定

抽籤ハ七月十六日警官

ノ御立

會ノ

1,605

日米親善果して成るか

其の後に來るもの

(F)

に説明のしやうが無いではないか。米岐政府の對極東政策上の動機はそれなのか。米人は端なくも其の宿命を意識して見まざる代價をば米人は拂ふだけの優

来域へであつた米域が若し 外交問題に屈した最初さなる 否此の屈服は米域の蜂慣さか 現在の物的利害ごかいふのよ の更らに根ぶかき或ものに付

洲問題の

共簡外三社ご合同せしめた

時間を行び。今後の積極的運動 を行び。今後の積極的運動 を行び。今後の積極的運動 を行び。今後の積極的運動 を行び。今後の積極的運動

北寧線

「東京八日麓網通」最近三保 簡社は昨年末の商工省の檢查 育社は昨年末の商工省の檢查 高局では影響を恐れて報道を 器局では影響を恐れて報道を 務以下を引退せしめ原和造氏 特別下を引退せしめ原和造氏 特別下を引退せしめ原和造氏 特別でを引退せしめ原和造氏 特別でを引退せしめ原和造氏 特別でを引退せしめ原和造氏

會社組織さる

國光生命事件解禁一

り競表された

日滿礼會事業 大會第二日

昭和生命

日

漸次好轉

京

漢口

「天津八日韓國湖」 天津郵務 局では事變以米區別されてる た戦區十九縣の郵便避送を七 た戦區十九縣の郵便避送を七

戦區の郵便遞送を

平常通り改正

天津郵務局で發表

の知しの知られる。これでは一日一回でその敬養時間方の知し

**华**耐九時四十五分天津甲停

**午後七時四十五分天津東停** 午後一時五分唐山鬱

## ダンピング税開始 外務省嚴重抗議が

課すべき輸入品さし、ソヴェート研警貿易品さ石炭セメンスの関節を阻止すべく再度抗力を提出する方針であることが関節を提出するとのであることが関節を提出する方針であることが関節を提出する方針であることが

前して最近の唐山行卵客は四日四十五人、五日百九十一人大日二百一人で唐山優天津著一条客は四日二十人、五日八十一人 より興銀への 中小產工 業者

活況を呈す 借入申込み 

大同二年五月分

全滿貿易概况

(但し輸出

(東京八日慶國地) 舞銀の中小師工業者への産業資金の体出状況は物樓・景氣で活況を呈して居るが二月十五日より六月末辺に於ける總計は か三元 日 か 三元 日 金 額 四、502 + 102 - 102 でこの内貸出承諾山数 金

宝芸の日

人國別並に主要輸出入品目は第四便に掲載)財政部競表大同二年五月分全備貿易假况左の如

輪 入 品 (外頭品) 無線 入 品 (外頭品) 輸出人貿易總額表(五月分) 價 三、元、六四三三、四八、六四四三三、四八、六四四 10 次0 次2 三 公司 1、空型、四八 

明年度私鐵買收に充當

の東京八日優越明)観道省は明年度機関一千萬圓の公債を明年度機関一千萬圓の公債を明年度機関一千萬圓の公債を明年度機関一千萬圓の公債を明年度機関、建設開始に調査させてあるが、この爲 タベ」を能す事さなり準備も 全く吸ひ各沿線からの來客を 会く吸び各沿線からの來客を 音易會者がある模離後奉天驛 では園体客の便宜を闘る低。 汽車賃の割引を始め種々のサ

我兵一名戰死

**温泉で登の名所で云はれる五** 

『溫泉の夕べ』

でなくして聯盟にさる行動を

さらぜた。

〇 明司令部に達した情報に依れば常地駐屯の松本歩兵〇〇 明司令部に達した情報に依れば常地駐屯の松本歩兵〇〇 解より派遣すれた駿甲列車は五日午前六時間邊昭附近に至り斥候を以つて附近捜査中洗途軍逃亡兵を襲しる撃した。 斥候二等兵司井末 紫はその際腹部官員統創を受 数をしたが五日午後零時1つつつ 遂に戦傷死した。

に即を のを見ると、ちょつと困つたやう 事務さんが京子の役をもう少しど 叩きながら、

であ、同うも形を引き、 をしてゐた。「他者の発達をかけで、豪本を手に持やうと思つてゐたところですよ」をしてゐた。「何かと舞臺の上で指述。 をしてゐた。」。 をしてゐた。「他者の必要」を表示がさう言ふと、彼で。」。 「であ、同うも形を引き、と思つてゐたところですよ」を表示がさう言ふと、彼で。」。 のか」 そんな言葉も 心の中で眩かれ 「えょ、それぢやあ誰か呼びにや

うにか出来ないだらうかつで管は 印

電車二六二〇番 にしきや 消防密板人

いさんだきつきをはし、いるので、 英一体泰葉に成つてさらいつて、と言ったが、そこに楽一がある 阪口君は何處にゐる

|人形つかひだといつたな。は、ます

新京ビル内空室あり

詳細 は電話三三二六番へ カフエー向きに好的

賣家有り

2 富籤番號ハ曲籤券番號ノ末字ヲ抽

籤ノ」般表(彩票ノ未字ト同ジ)

十五日マデ

それぢゃあすぐに 貨事務所 階下 電話三八六四番 電話三八六四番

後膝康夫君 等和工來647元 等和工來647元 第第日本籍順六十六 第二二郎

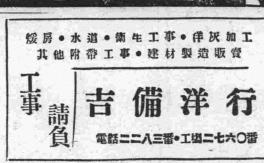
金ガ半分戻ル

計通 時 ø 本 雷四正人三醇

> 味アル中 元







定價一數 电三倍 级 一個月 金八十歲 级 一個月 金八十歲 新京人鄉町間丁首一冊 数 發行所 新京日日新聞社 电游子上五路 经行人 中河 荣 忠 编辑人 徐 本 男印刷人 眷 啓二郎 二、社會事業家の社會教化に一、融合化を事業の社會教化に 中で時計16

古

蒸無断上晚上点

高根

秀

造员

都 (五十二)

香川さんは何も騒怒がないぢやあっとまだあつちにおいでよせう』

和所の方へ行かれましたが、き

三花出張教授

江省慰問使

を碎

日

日

案內

執政特派

五、モルヒチ患者の根本的救四、社會事業家養成の件 六、嫡日大曾に振り東亞社會 事業聯盟結改準備 鮮銀利下

齊問

對米為替益々暴騰 一日より實施に央定した 日銀利下に續いて二厘 ゴ下げ 一葉一はそれからまたかなり長いつと 「人で獣り込んだま」、老鴻 「え 一次で獣り込んだま」、老鴻 「え から聞えて来た二人の騒は、妙にりまから聞えて来た二人の騒は、妙にりまから聞えて来た二人の騒は、妙にりまから聞えて来た二人の騒は、妙にりまから聞えて来た二人の騒は、妙にりまからが、何附までも英一の頭に襲った。

泰薬はさういつてから急に話い らな」

え、しかしあの方は重役です

勉強保管確實

電話二四四七番記念館右横

如何です。ちょつと選其を見て

轉じてしまつてい

を ち乍ら一般氣能は二十九那管 殺狈の觀を呈し唱へはまちま 人形つかひ……聞る人形……

されてしまつた。老師の辞ひはすとこされてしまつた。老師の解しいほどぼくからと、英一の腕は鬱陽しいほどぼくから るる人形なのではないだらうか… 英のる人形なのではないだらうか… だりあいつの貧めに離らせられて『えばりあいつの貧めに離らせられて『えばりあいつの貧めに離らせられて『えばりあいのないだらうか… 英『如 くはなかつた。

りい」心特に能つてみた。 になったが、それからかく細つて、こので に直すやうなところはないと思ひ まつと不領域な調子でさう言つて 英一は合はと殴りが何を話してち うなところがなかつた。 春葉と一緒に舞盗の正面 も小道具にも別に欧目を出立脈に飾られてあつて、大 立脈に飾られてあつて、大 0

造金 金銀 東二條明6世五東二條明6世五

生宅、結婚右親切に御紹介の時間であります。 結婚右親切に御紹介の 第一次 社 のかりのまり まおまり まおまりのまり まかりのまり おりがり はいい 家屋 買買並に仲介

一品毎ニ抽籤券一枚ヅゝ進呈

博多屋辯支店 祝町一一回七つ 致盆 しました 御下贈 3 答品は是 新京 ヘフマキラー 物 非 弊

三洋五人香行

0 吹けば蠅も蚊も皆死ぬる) 和 店 色 E R 御 陳 用 列

神中八みは『話川三〇〇番 中中八みは『話川三〇〇番 中午名在社 一回金一周五十銭 一一一回金一周五十銭 一一一回金十八十銭 溢派丸~ 北 鲜 経 由 東京 へ !! 大 阪 へ !! 天草丸 {雄昼清津出帆 新京 京林 每六十六三六日(月11回) 代理店、北鲜運輸

新築落成開業致しました ごうぞ御贔負に

八屋旅館

Ш 與

材教育協議

査會で

會議から歸つて東校長語 る

利を養成するにある。更に五 項目の審議内容を示せば 一、よ小覧を・

の衝覆に努むる必要がある を中心さして穏健なる思想三、は鰕湫については体験

はこれを統一する必要があいたしまでなる事校の設備をは二十學級五十名以下、中學校は二十學級

## 八的に満洲常駐

三月廿四日第一回の委員會を 部完了したので五、六、七の 三月廿四日第一回の委員會を 部完了したので五、六、七の 三月廿四日第一回の委員會を 部完了したので五、六、七の 三月廿四日第一回の委員會を 部完了したので五、六、七の 三月廿四日第一回の委員會を 部完了したので五、六、七の 三月廿四日第一回の委員會を 部完了したので五、六、七の 三月廿四日第一回の委員會を 一、教育標底に 同 五、其他に 五、其他に 五の五項をあけて論議し小委 の決定をも見ず散會した、な の決定をも見ず散會した、な 日 「は本會調の主旨は最近一要し

北鐵讓渡交涉第五次會商は

民の精神を涵養する課日に一二、は支那語を正課にして

商業學校長は語つてゐた の日月を受するであろうさ東

なほ今後歌回に亘つて研究す

か単校の約半数は必要を認

來週中には開催か

=前途依然望み薄ピみらる=

**心観して居るがロシア側が如何に開州** 

る討論が實際上評額出來るかさなり殊に金融問題に關係す

さに陸軍省首腦部で决定、近く基礎的調査が開始される筈である畫に影響を及ぼす故、これを機として全陸軍に亘る軍制の大改革を断行するこ軍全体へ根本的改革の必要が生じつゝある、而るに改革は全國の各師團動員計放置しをくを得ず、且は議定書により恒久的に滿洲に常駐せねばならぬ故闕東に留守隊を殘して居り、その運用、教育に不便あり、不經濟でもあり現狀の儘(東京八日發國通) 現在の關東軍は事變の進展に伴ひ急に出動させた故、內地

#### 入連會商を終つて 村副長歸任

月七年八和

**驛頭朗かに語る** 

こんなに早く會議が纏るさら早くさも一所で浴衣掛けの覧いだ。 いくち こ思つてのた、 實際食事をご思つてのた、 實際食事をがき間進行にごれだけ効果があつたか分6ね、 等軍代表〇〇〇は今日奉天で一治明朝奉山線で闘るだらう 教授除、後援者はカナダに待てターン機生存の報に、冨地

支那側の補助撤回で留學の満人學生 上海に

大連會商に関東軍代表さして大連會商に関東軍代表さして第二課長は八日午後七時五十分軍団令官代理勇城自副官、機順高級副官、松室承徳特務機順長、原田第三課長、遠撤

順より盛に之等男生居に喰入 料宿舍費を発する等經濟的方 之等留學生優待策を講じ授業 人等留學生優待策を講じ授業 人等留學生優待策を講じ授業 人等留學生優待策を講じ授業 人等留學生優待策を講じ授業

人連會商

0

岡村副長は

ご明6か

支那三側代表

天津に到着直ちに北平へ

土張價格に

懸隔

を許さず

の幹部會が通貨委員會の調事

のではないかささへ視られ 断然智識より脱退するに至

捕はる

中途退學歸國者續出す

來する者續出して居る

北平中國銀行に

五人組の

時刑報告の筈である す見、大連會商の結果に就 中籍の上は、黄郛、何應欽

「天津八日菱岬通」八日午後 「天津八日菱岬通」八日午後 朝用の強盗守備をピストルで 観銀行辨事處に五名の中山服 耐力を始奪逃走した。支那側

一六月二十一日北平街中の日 一六月二十一日北平街中の日 本歩兵降が演習よりの帰途哈

抗闘中其後歐次の折衝を經でお兵職より何應欽に對し嚴重

B関備解決を見た

失敗の篇の對米爲替昂繼し一、對米關係、米滅インフレ

**五割昂騰してるるのでは** 

信指数は何れる九十で其の でる必要に迫られる

の場合我認は高價な原料を買物價鑑賞の停止の場合だが此

の破綻により弗貨下落せず。

要なし、問題はインフレ策高でも我輸出を悲観するの

はねばならず、緊急對策を調

不法射撃事件圓滿解決す

日度を勝ずるこごが必要さる て来たが投劇では休會中だの で東京八日麓河通)経濟會語

機のマタン数援飛行機に對し 伸じた 「モスタワ八日最製油」マタ

さの報道はモスクワにも到者のアナジールに生存してゐるのアナジールに生存してゐる

側に接近するさも其の開きはほの東京八日便調頭) 外務省で

病洲<br />
國は

經濟會議休會中

ペドライブする等悠々さし隣の回答到者する筈であるから その構限範圍を以てしては全如何を注目して居るのみでありより再開される質であるが との構限範圍を以てしては全如何を注目して居るのみでありより再開される質であるが は來週早々若しくは飲析からだしく交渉の輸金は樂觀を許 なの構限範圍を以てしては全如何を注目して居るのみでありより再開される質であるが 目下東京滯在中のソ代表部も別時代表部も又唯ソ側の出議(譲渡交渉はその上で十日あた ソ聯側の出様を注目

さ意味深景な言辟を吐いた

一次定 する様なこ

きかあれ

失敗せば

める内に市内 吉福富其他に 金三回四十銭を恣難に罹った

英國會議開催

經濟會議

では昨日左の決議をした 世界經濟自議失敗せば。英 市街南三馬路熊本縣天草郡高へて三日午後三時職東崩洲側

明白きなつたので身柄は一体引致爾來酸重取調中の繊維狀

岩田司(二)を容疑ささして濱村字宮前乙第二六九一番地

我國の必要とする爲替對策 歌からは一志三片へ安定すべきだ弗貨の下落では英佛さアメリカに對し貿易上の脅威たる金を準備してゐるが金融上の利便なく日本は赤字公債の役行不可避な以上貨替下落し英吉利では貨替グンピングを見越して職替グンピングを見越して職 合會たる英國産業聯盟委員會れば、大英帝國産業関体の聯大政策を設定業関係の聯

海拉爾、敦化に 領事館を新設

廣東アジア協會から へ呼掛く

歐米の東進に備へん

贸十八百七

行方不明の

東北艦隊發見さる

次に文化事業に付て一言申上 りたいが我が儀別認は建設尚 日淺いさは申せ在協別の諸氏 族が始めて文化の種を此地に 権き下ろしたこさは選く二千 年来のこさであり、歴代文化 の遺蹟遺物さして中に数すべ きるのも少くはなく、殊に前 するものも多く、就中夫の有 名な文朔閣の四庫全書の如き と校的完全に保存せられて居

世界の文化に貢献せんこさ で博く古今の名書修籍を製用し起立圖書館を で博く古今の名書修籍を製用し起立圖書館を で博く古今の名書修籍を製造し以 で博く古今の名書修籍を製造し以 で世界の文化に貢献せんこさ を期して居る次第でありました。今後尚進ん で偉大なる誇の一であるさ信 かちのでうります

致して苦るので御座氏ます 端日州回事門學者の學術的經 の調査研究に聞して権威ある

を強ぐべきこさは信じて疑ならので御座でます。 が此の数

立脚して王道を中心さした

は是まで責任ある官廳の言明を見るべき見込確實なること

海軍省公表

を傳へられる東北艦隊三艦は香港と廣東間警備艦隊嵯峨艦長發入電に依れば行方不明(東京八日發國通)海軍省公表=廣東停泊

りまする所から、之に<u>娯京故</u> 名な文朔閣の四庫全書の如き と、就中夫の有

はなく又一々之を朝紹介する ・なく又一々之を朝紹介する ・は我文教部首屬の事業で といい、一般のは、一般のでは、一般のでは、 ・は父女のでは、一般のでは、 ・は父女のでは、 ・は父女のでは、 ・は父女のでは、 ・は父女のでは、 ・は父女のでは、 ・は父女のでは、 ・ないでは、 ・ないではないでは、 ・

虎門東方に在

国は過日來開映廠を追撃し浚 に小與安嶺頂上にて之を殲滅 し、六日黒河に富氣揚々凱旋 した。この営小気安嶺以北に は有力な匪賊絶無さなつたが は有力な匪賊絶無さなつたが

[ニューヨーク七日産前用]

救援飛行機

ターン機の

(六月十八日放送)

岩

て極めて重要の事項で信じか 努むるここは我文化事業で1

の教育は要するに大同元年11 きを申添へまするご我備州朝 に対策したが最後に簡單な結

政頗る窮屈を感じ居るも近き建総創業の今日この國家の財

來に於て必6中財政の豊富

して習きます を安するので是は組日の

の極めて有力なる援助あり且務總理以下の碩器多く從て尤を乗を文教に置き熱心に之がを乗を対してある上に日本

るに至りましたが、一面史回断に古蹟保存法の発布を

森版長職下の騎兵第七

匪賊を

したる皆様に動し深浮なる謝放送にお耳をお籍し下さいま 影響を受け新なる勃興の氣運の中間に介在し其刺飲及び健康文化の中欄にる日支露三個東文化の中欄にる日支露三 花のちからであります。以 菰酸せられ 説氏の意気义旺 に南州の民家へ呼びかけて来 日司協會首席陳鷲の氏より更 日司協會首席陳鷲の氏より更 (奉天八日経國通) B。确。支配的方式が大アジャ主義は に対合体し政治。経濟各方面

**を以つてハイラル。敦化。二│を酵止の旨公布された** 【東京八日発調館】八日勅令│領事館を釈設し遼陽の領事館 遼陽領事館を廢止

要あり

大アジア聯盟を結成して

混亂を豫想の 十日の經濟會 金融問題討議危ぶまる 爾幹部會

音類を共に去る四月順京

ブール開き

1. FT

その日ノ

究有効な

さす必要がある大體に於て をは得ね十二才より十六才 受け得ね十二才より十六才 受け得ね十二才より十六才 ・ 信の闘事機械さ否さを最終的 に決定すべき十日の幹部會は 非常な混亂を 一子根一つた明らの 帝國の各自治質さ植氏地代 表はロンドンに於て英帝國 孫黑龍江省長

一回水泳大會はたのプログラれる本年度プール開き後の第れる本年度プール開き後の第

日編纂定書による駐譲軍僧の日編編で軍制の大改革行はれん

るが、其の實現に先立ち既に設を决定するここになつてる 會議を行び金本位各國通貨ので關係各國中央銀行代表者の 本位プロック側は八日パラ 十日新京林赴任の豫定であったが。本日鄭政務楊理さ會見たが。本日鄭政務楊理さ會見たが。本日鄭政務楊理さ會見 十一日出發

高、総合軍隊等各側体二百米市中、機舗區、韓列車區保障

き偉大なる愛崎の伊路 ・ 額は少なりき雖も換え雕

さきなつた

ムにより盛天に進められるこ

た以で冥すべし も質共に東洋和季の實権を提

**尉は大連から一流選手数名の** 避援ありて複範競泳を實施す

すること其籍事は極度に困難に成が出來上れば十日の幹部曾領が出來上れば十日の幹部曾領格委員會の議事機織を決定 小學校、十六日より公學校、〇四平街餐」四平街餐」四平街餐 一十二日より普通學校いづれ 四平街から 各學校暑休 二。式水,

大水クロームストローク

午後三時二十五分國都本島總領事(ハルビン)九

体育協會是山

人事往來

(四平街等) 市內平安街一丁 邦人泥棒 九、百米男子一般九、百米自由型男子一般九、百米自由型男子一般 六、水中徒歩子供プール未経五、五十米一般男も元、五十米一般男も一次の現代を表現しています。 五十米平冰小學校男女兒

毛布、ワイシャツ等計金八十 6周九時までの関の不在中飛 6周九時までの関の不在中飛 手帖ズボン、テクタイ類時慣八太郎の貯金通帳一册さ青年 九圓十銭のもので同害人願見 

**徳中佐(稲東軍司令部)** 

見副會長 体育協會議 ▲岡村少縣(開東軍母謀副長) 八日午後七時五十分總京 八日午後七時五十分總京 一本東京商品見本展瀬州名九日 一本後四時三十分兩行 中後四時三十分兩行 中後四時三十分兩行 本東京商品見本展瀬州名九日

日間所有ノトコロ抵富権者野村ト

建坪九十六坪二台七勺八才 は上一、煉瓦竜瓦津平家建 一棟 八九宅地二百四十坪府在 一棟 新京南端州嶮道附屬地祝町二丁目十二番地ノ四及十二番地新京南端州嶮道附屬地祝町二丁目十二番地ノ四及十二番地

在新京 日本帝國總領事館

御寫眞なら

速くてー 安くてー 美しいー

三拍子揃った電氣寫真館で!! 吉理四二丁口(音架太阳獨) 双美寫眞

ペント式冷藏庫 賣回

以カーテン、鏡台、家具 新京吉野町一丁目二十一番地

ガル ラスキ 店 松 本本組

子り焦于を安心 と意べ

るり

日感ひはあるにはあるが、ころののろい怪物の行電だからなののろい怪物の行電だからない。同楽風さほしは至つて悪い、同楽風さほしは至つて悪い。同楽

ら、運轉手さ助手

石炭はさしくくべられる。

なんと暑苦しい姿より

員等の 新京緑巡査派出所を始め、

を指の間にはさみ隣人の大

は皆非常に巧妙である

オルダーさして

助へば「何處からそんな事を協和曾に 聞いて來たのですか」で冒頭

々しく華燭の典を舉けるさい

お月下氷人オール協洲レコ

淺尚信夫氏歡迎

特ヤマトホラルで催す筈であ へ早稲田同窓官が十一日夜七 日活備攀班長淺岡信夫氏を迎

年成二十四歳にして年八月十四日蔚山沖の

何んさも云へぬ嬉しい気分つの 結婚式 が終 るまやれ

で有名であつた新京のは爾楽一防に努めてゐる爲極めて少権人間にスリの被害が多いの一将餐口は繁華が附きしりで

驛のスリ減少

七月に入って

# 甲食代や馬車賃を節約

日十月七年八和昭

の馬車を徒歩に、父山方向の馬車を徒歩に、父山方向の馬車を徒歩に、父山方向の馬車を徒歩に、父山方向の馬車を徒歩に、父山方向の馬車を徒歩に、父山方向の馬車を徒歩に、父山方向の馬車を徒歩に、父山方向の馬車を徒歩に、父山方向の馬車を徒歩に、父山方向の馬車を徒歩に、父山方向の

た幾何かの金を自 時した濱松飛行聯隊の復落 一次日金一 の一端に屆 一次日金一 けて下さい さ申出たので東校長は投教え 子の純眞よりほごばしるこの 発行を賞し生徒の意志を通 がべく近く新京憲兵隊へ送金 生態等に一つ馬車に同乗各自 の馬車債を除し或は中食のパン代を切りつめる等深ぐましい迄の節約を重ねては貯金箱 にこの美事に同意した他の生 にこの美事に同意した他の生 にこの美事に同意した他の生 にこの美事に同意した他の生

警戒が利き

滿鐵見習生

願書提出のこと るこさもなつた。 本年 は例年の如く見習生を 月十七までに

上 の雕藝資格者は大正六年十月 でに出生した男子で、八月十七日までに本社人事課へ願書 を提出するこことなつてゐる 日午前九時より本社々員俱聚 及身体檢査が

南軍のパッテリー左の如し

### 十分後孟承屯迄引返し新京よ車は孟冢屯驛の南方一哩の地車は孟冢屯驛の南方一哩の地

たが結局六個二で頑倶雪辱大大野球第二回戦は八日午後四大野球第二回戦は八日午後四 對明大二回戰

境を左の如く語る
・ は獄中に於ける最近の心士は獄中に於ける最近の心士は獄中に於ける最近の心 6 監獄に入るさ生死を超越

とは現在の私の決意である。 せて樂に死たいこ云ふのが ばがある。なるべく苦痛を避

八組目の

獄中に獨坐して私は感慨無量負はされた運命を直視しつと からの手で葬むらっさしてる ある、誤解を避けるた

僅か半年の定獄生活 信念が動搖したのではな の基礎理論に對する學問

り得ない、書齋に醒岳したも私は依然さしてマルクスも私は依然さしてマルクス

多數に上つてゐるでしやう。

協和會の廣吉辰雄氏 みで後は全部成功して居りたが、一度失敗に終つたの在までに三十五回やりまし よいがミ叉一苦勢です。現反對に旨く行つてくれるば

氏の二十七歳の時月下氷人さして立つたのを嚆矢さして常 に自分の知つてゐる人即ち見 で信條さして溺來媒介するこ を信條さして溺來媒介するこ を信條さして溺來媒介するこ

その間たつた一度だけ失敗

際運動から隠退した後の自己

同病院内隔離病室に入院した一般烈な下痢を起し同夕刻に至り疑似が痢さ確定し直ちに激烈な下痢を起し同夕刻に至り疑似が痢さ確定し直ちに水の場所を大附屬病院で眼疾が療中であつたが六日朝來來り輸刑署大附屬病院で眼疾が療出の場所は過般來奉天に 馮司法部總長 疑似赤痢で入院

ならぬ。その苦勞は知る人ぞ日の仕事をつざけてゆかねば これをガソリンカーにでも戀姿!とれこそ傾世紀の遺物で を吐きながら動くローラ 夏の街上に牛の歩み宜しく を戸外でくいこめた、三吉巡

るちそうだが、ある運輸手クンにその話をすらさ それは誠にう、 何をいつても此の強り暑苦 十日午後三時二十五分着列車で〇兵第六十三〇隊の第一〇隊將校以下約〇〇名來京同四時三十分發十七列車で吉林へ通過移駐同日午後九時三十分着列車で高林の第一〇隊將校以下約〇〇兵第

あす午後

〇兵及〇

〇兵來京

に同日同時に先に南嶺の兵營に入っ

開廷されるが。河上博士が共命之助氏の公判は來る十三日の懷擧に關聯しシンパさし日の懷擧に關聯しシンパさし 交番で巡査を 殴る不屈き者 田富俊さて同氏が刑務所生活 い度後さて同氏が刑務所生活 に依る心境を如何に語るか注

八日午後十時三十分ごろ西条 関前派出所へ西三馬路馬車夫 たでしく派出所へかけ込んでの破壊されたのを持つてあは 遂に暴行罪で御用

滿洲女性 やし ふの排球大會

強計議体育協會主催の第一回 女子排球大會は九日午前九時から練原高女校庭で開催、役 自席には會長謝外交總長夫人、西 山女教部司長夫妻その他の額 簡れも見受けられまづ入場式 があつて一同 観歌合唱裡に國 があつて一同 観歌合唱裡に國 黒龍江省2 —— 0 北瀬特晨 はプログラムは進むにつれて 興味いよく加はり、炎天下に新しい場別女性がユニネーム姿りもしく勇踏する様は未だ合で見られぬ雌々しいものがあり、観常の血を湧かしめ

連行急行列車 孟家屯附近で故障

佐野、鍋山の

轉向で

修理を加へ卅分後發車 ねて來たりするさ實際嬉しか夫婦連で子供を抱いて訪 のですよりするご實際嬉し

を細くして語つた

る轉向者既に二十七名に達し (係者へ機覧させたが、之に依 係者へ機覧させたが、之に依 の轉向證明書を入賦中の瞬 一十七名轉向

い考へて居る

「東京八日麓園画」田中清立 一派の再建共産職に資金を提供した作家職務大なご五名に對する治安 維持法違反事件に係る公制は 八日朝廷。裁判長はたの如く 1000年 職 株成吉 1000年 職 株成吉 1000年 職 株成吉 1000年 10

河上博士獄中に心境を語

8

は富然の時果さして政治問題に就て一切の設言を差控へる書館に歴話せる者の政論は有害でしかあり得ない、今侵私は一層政論に筆を斬つがごう

双美寫真館開業

耳鼻咽喉科專門

醫學博士

新京梅ケ技町四丁目二

(領事館前東三條頭機角)

# 忠

のモットーさする迅 迷安僧 割引にて御器めに應する、

貸 事 務

商工パーラー會員募集 をはい一般ノ事務所貨節約ノ目的テ以テ小本館ハ一般ノ事務所貨節約ノ目的テ以テ小のトナス のトナス +電話私書凾卓子邦文タイプライター等其

新京商工パーラー假事政部京大和通三十三番地端鐵病院前 話三八

餘番 流行小唄。其他。数番

をむさほっ罪の一部を償ひ板 も早く此仕事を完成して安逸 しても残生を偸べうさして居 ある中に **急行罪さして直に検束された** を判明し中野、白井の雨では 新京警備隊

選手合同の交職でが同校調堂で午後四時閉で、終つて日頃の登品授與ののち萬歳を三唱して日頃の

南京後四、〇〇 神 衛東通信計 の カラ は 明 の カコード

力を一方へルチーイン

日本権選りの数約5

に就いた廣樹部線、山崎〇線 上條部隊着京

到着直ちに歩武堂々南嶺兵舎の多数市民側体の出迎を受ける野市民側体の出迎を受ける時間がある。 の経留部隊〇〇〇名は上條大

名種印刷で製本 印刷機械及材料

八年七月四日其ノ資格ラ喪 就京區&示第九號 新京區地方委員會委員服部 新京區地方委員會委員服部

即小賣北原紙店

電話二三七三九

落後 英後 七語 〇〇

新京地方事務所長期和八年七月九日

藤森成吉氏等に

じやねろ丸 商船りおで

阪神大連定期線

開院御挨拶

本版商船はさきに南米航路ー本版商船はさきに南米航路ー本丸を一航海大連航路に臨時配船したが今回更にその姉妹配時配船したが今回更にその姉妹を定員一等六〇名、特別三等客定員一等六〇名、特別三等なご言等一〇二六名で数 く可き筈の處乍畧儀紙上を以て貴意を得一十日より診療開始致し候に付き今後何本十日より診療開始致し候に付き今後何本に從事致し度く準備中の處愈々來る七月今般左記の處に於て耳鼻咽喉科專門診療

大塚前商大教授公判

來る十三日開廷

點に於て今後大いに好評を拍割引にて御器めに應かさ、氏

本館所在地 一般文具/設 中 一般文具/設 一般文具/設

輸入組合加盟店 全ノ方ハ午前中ニ面會ス 七月二十日 七月二十日 丁目六番地

柳院の際星を取らうと言ふ聴聴「年に一座の看脚所、勝を纏りその職者に附け込んで、この響うしたら良からうなア……」

在部ヶ郷としても、 膵を腹るが工族はカーの生命。さら手男

「どうで、ゆづらにや遊むまいたらはないなれど……」

大都市郡武磯路町工 市岡工

岡工業所

一部と言ったっけなア……」 何か然い状心の色が現はれた。 「なめ 佐瀬ケ嶽の、奥の病人、野野奥 ふいた。 奥四郎の新白な飯に、「なめ 佐瀬ケ嶽の、奥の病人との軸耳で思はず、さうツと涙を

で、大下時れて智徳、「大下時れて智徳」、「大下時れて智徳」、「大下時れて智徳」、「大下時れて智徳」、「大下時れて智徳」、「大下時れて智徳」、「大下時代」、「大下、おとよ今の際が川は佐崎が続め……」「「なて、おとよ今の際が川の音を読まつてゐる事を覗き出しては、「所人するとの事こいつて何を読まってゐる事を覗きつてゐる事を覗き出しては、「所人するとの事こいつて何を記まれてゐる。」

儲かる

紙ナフキン

武質敵の少な

製製造でも

高

銅鎖輸賦力細工

二目丁六町土富京新番七 二三 二話電

六白の人 望まずして輻線 の加はる日商談金談凡で吉 内で変き質が吉

事に言るが中病盗難注意

大後を招く馬利用窓あれ

板ヤニペ

『なめ、住意ケ絵の『昔から 篩 行く氣配。佐瀬ケ織器は数りここの時、店先と題々しい壁。 関野川は起ち上つて、歸つて、 ので、 ましたわい』

●九紫の人 始めの油断は最 後までは縛ふべし注意あれ

三大阪商船出航

靴

白靴をお

召

樂の

1

ズン

七月十一日

定價金四圓八十錢より

遊ば

せ

(町の揃へて有ります)

は

金

新京東一條通り

八白の人 突風の波浪を起す如し船出は見合すが安全

47

が成る縁談は吉訴訟は凶

できな、失敗したか……」 「うゝむ、失敗したか……」 「のとしてが、つた態を、これだい 「のとしてが、これだい」 「のとしてが、これだい」

四職は緑形に関ってみた。 「神世様、から言ふ縁なのでこ『フ・・・おい佐瀬ケ様の体質を続った。 で見き込んだ。 を観き込んだ。 を観き込んだ。 を観き込んだ。 を観き込んだ。 を観き込んだ。 で見ら込んだ。 で見ら込んだ。 でしたさるのは無数なこつてごん でしたさるのは無数なこつてごん でしたさるのは無数なこつてごん でしたさるのは無数なこつてごん でしたさるのは無数なこつてごん でしたさるのは無数なこつでごん でしたさるのは無数なこつでごん でしたさるのは無数なこつでごん でしたさるのは無数なこつた。建つ でしたさるのは無数なこつた。建つ でしたが言ふのなら、 を見き込んだ。 幕 末 異 岡

●二黒の人 陣を布げきもは 売れさなん 日十月七日八十月五閏年

他事に係るな太勢を与り吉三碧の人、知らね振りして 登り離さ如し 料材廻床

2200000000000000000000<u>2</u>

新會商川吉蘇

木铭坂井天 

X1 三等船客設備船 門司、神戸(大阪)行

月十七日

お内能がとめるを、間に乗つ 一まあ、よいで はござ んぜんじくつて腕を組んでゐる。—— 他節の良いお内儀の壁の 

各地國際運輸會社支馬 大阪商船株式會社 大阪商船株式會社 電影四二三七番 電影四二三七番



寸一はい

極樂で!!

電話二九五二番

夜るの 散歩に!! 小料 毎 度 理 有 じます ż

專明

梅ケ枝町四 □ T目十四番地 □ T目十四番地

御 開

不況を外

に大發展

鰻かば焼ト

ざんぶり

三笠

町二丁目

電話二九四二番

唸を生じて大評判

御 館代千八料 電話(三)九七)番 町野古春長



カフエー 新京の花 東 酒と女は滿點 東一條通

